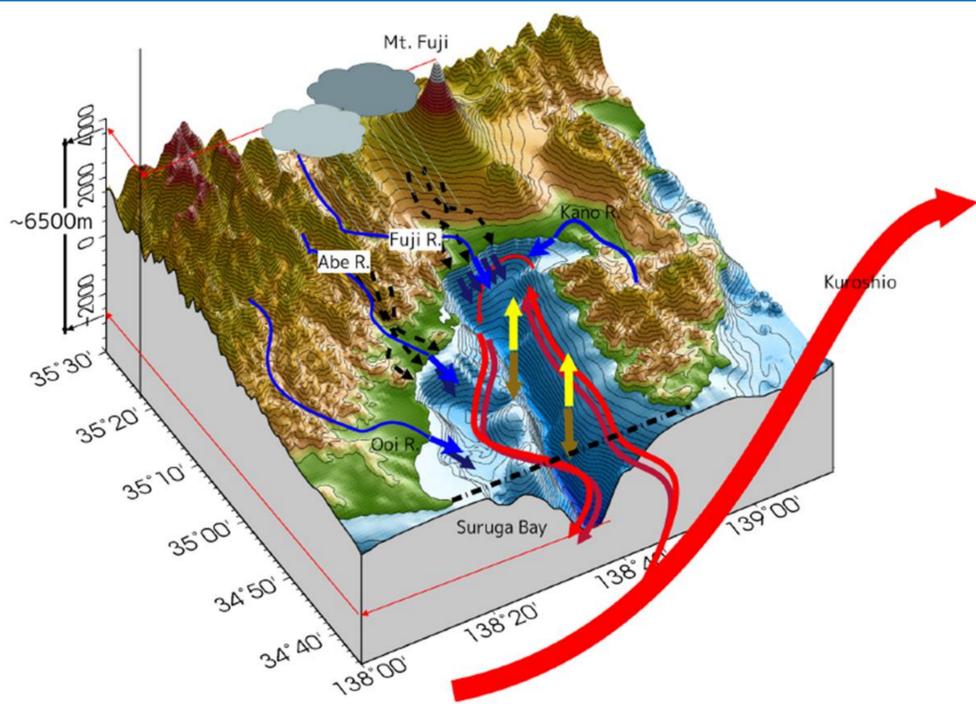


# 由比周辺の海洋環境と生物生産 に係る可能性調査

～由比漁協をモデルとした静岡県沿岸漁業活性化～



## 目的・概要

静岡県の漁業生産量は約20万トンで全国第6位と上位に位置している。また遠州灘や駿河湾、伊豆半島を有する静岡県海域の環境は砂泥から岩礁、浅海から深海と多様性に富み、船曳網によるサクラエビやシラス、定置網によるイカ・アジ・サバなどが主要な漁獲物となっている。しかし、近年これらの沿岸漁獲量は減少傾向にあり、沿岸漁業の経営安定化や活性化が望まれている。また、盛漁期以外にも働く場と収入が得られるような新たな漁業や養殖業の展開が期待されている。本研究では、静岡県内の漁業の発展のために、由比における沿岸漁業の新たな展開の可能性を検討し、沿岸漁業の振興・活性化のためのモデルケースを提示する。また今後の事業具体化に向けた事業・研究計画を策定する。

## 実施体制

- 由比港漁業協同組合 参事 海野剛裕 (プロジェクトリーダー)
- 東海大学海洋学部海洋地球学科 教授 植原量行
- 株式会社鉄組潜水工業所 工事部 竹内昭人
- 株式会社販売促進研究所 デザインマネージャー 青島光宏



## 研究内容

### ①由比周辺および駿河湾周辺の海洋環境の情報整理と水産生物への影響の検討

既存の駿河湾海洋観測情報と定置網の多層水温情報を解析し、由比周辺を含む沿岸海洋環境の把握、これらの海洋環境の変動が駿河湾における水産生物の漁業や増養殖などに与える影響と対応策を検討する。

### ②由比周辺における有用海藻類の分布調査と増養殖方法の検討

由比漁協周辺におけるアカモクなど有用海藻類の分布調査を実施するとともに、アカモク利用先行地域の情報収集を行う。また①の情報を活用しつつ、アカモクの増殖、種苗生産、利用加工の可能性について検討する。

### ③消費者・料理人調査とブランド開発会議による長期戦略の策定

由比地区倉沢定置網で漁獲される倉沢アジおよびブランド候補のタチウオなどを念頭に、消費者調査、料理人調査、ブランド開発会議等を実施し、消費者ニーズに沿った長期戦略を策定する。またアカモクの市場調査を行う。



**MICCS**

静岡市海洋産業  
クラスター協議会

〒424-0822 静岡県静岡市清水区旭町6-8 (静岡市役所海洋文化都市推進本部内)  
TEL.054-354-2656 FAX.054-353-1022 E-mail info@miccs.jp